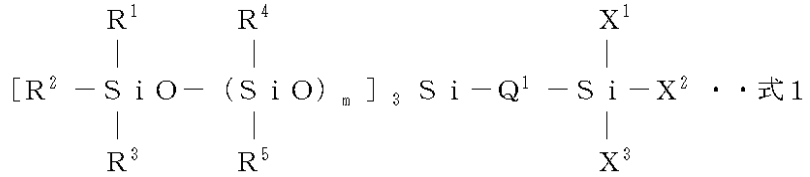
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年5月12日(2005.5.12)

【公開番号】特開2000-129247(P2000-129247A)
【公開日】平成12年5月9日(2000.5.9)
【出願番号】特願平10-308980
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０９Ｋ　3/18
【ＦＩ】
　Ｃ０９Ｋ　3/18　　１０４

【手続補正書】
【提出日】平成16年6月28日(2004.6.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　下式１で表される加水分解性シラン化合物および／または該加水分解性シラン化合物の部分加水分解生成物からなる表面処理剤。
【化１】



　ただし、式１中の記号は以下の意味を示す。
　R^1 ～R^5 ：それぞれ、同一であっても異なっていてもよい１価有機基。
　Q^1 ：２価有機基。
　X^1 、X^2 、X^3 ：それぞれ同一であっても異なっていてもよく、加水分解性基またはイソシアネート基。
　ｍ：０以上の整数。
【請求項２】
　R^1 もしくはR^5 が下式Ａで表される基でありかつR^2 、R^3 、およびR^4 が１価炭化水素基である、または、R^1 ～R^5 の全てがメチル基である、請求項１に記載の表面処理剤。
　$-Q^2-R^f$ ・・・式Ａ
　ただし、式Ａ中の記号は、以下の意味を示す。
　R^f ：エーテル性の酸素原子を含んでいてもよい１価ポリフルオロ炭化水素基。
　Q^2 ：２価有機基。
【請求項３】
　請求項１または２に記載の表面処理剤、および、有機溶剤を含む表面処理剤組成物。
【請求項４】
　請求項３に記載の表面処理剤組成物により基材表面を処理することを特徴とする基材処理方法。
【請求項５】

基材表面が、式１で表される化合物以外の加水分解性シラン化合物であらじめ処理された表面である請求項４に記載の基材処理方法。

【請求項６】

請求項４または５に記載の基材処理方法により得られた処理された処理基材。

【請求項７】

請求項６に記載の処理基材が搭載された部材。